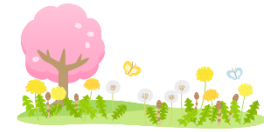


教育支援部だより

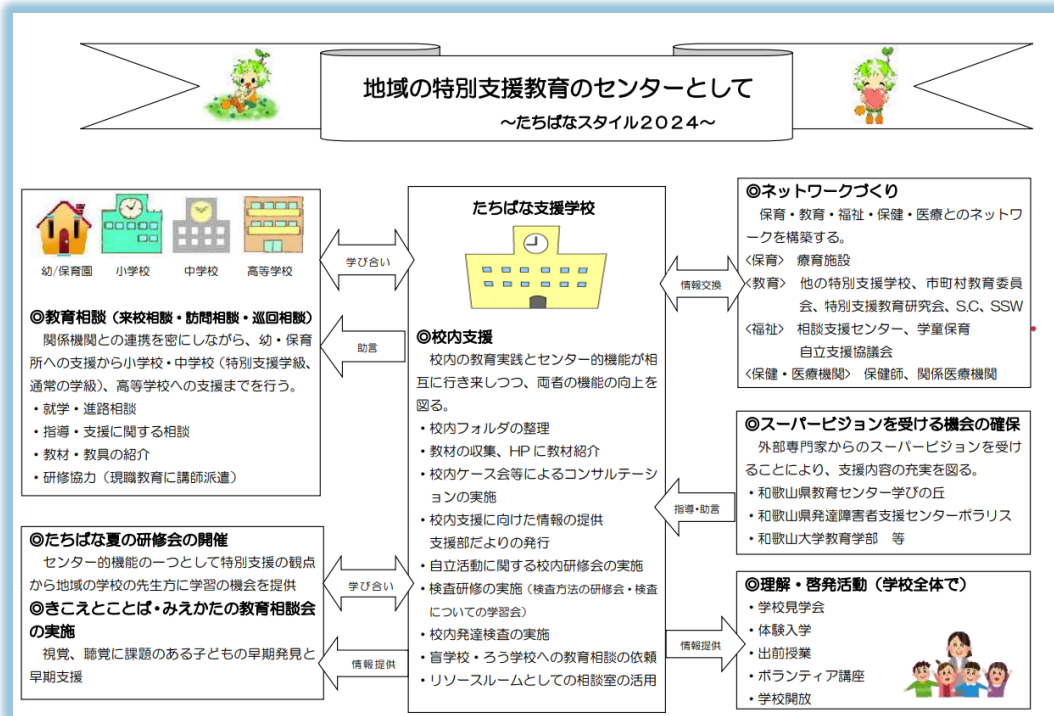
令和6年4月
No. 1

たちばな支援学校のセンター的役割とは



たちばな支援学校では本校並びに地域の園児・児童・生徒の皆さん一人一人の教育的ニーズに応じて適切な支援を行うことができるよう一緒に考えていく役割を担っています。

障害のある子ども達・保護者の皆さん・担当する先生方が笑顔で過ごせるようなお手伝いをさせていただけたらと願っています。



令和5年度教育相談件

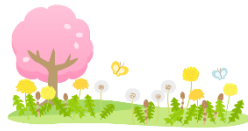


	児童生徒 理解	学習支援 生活支援	問題行動 への対応	授業内容 教育課程	進路 学校見学	研修 研究授業	合計
就学前	0	0	0	0	24	0	24
小学校	35	47	5	9	17	2	115
中学校	1	12	0	0	12	1	26
高等学校	11	0	0	4	0	2	17
その他	5	0	0	1	14	6	26
合計	52	59	5	14	67	11	208

支援者・保護者の皆さんから多くのご相談をいただきました。私たちが学びがっばいでした。ありがとうございました。



よくあるご質問



ちょっと困っているのだけれど、どうしたらいいの？

まずはお電話ください。概要をお聞きし、具体的な進め方について相談させていただきたいと思います。



どんな人が相談に来るの？

地域の先生方、保護者のみなさんのお悩みも一緒に考えていきます。児童生徒本人が保護者と一緒に相談に来てくれることもあります。



どんなことができるの？

お話を聞いたり、学校での様子を参観したりして実態把握のお手伝いをします。そこから目標設定の方法や具体的な支援方法について一緒に考えさせていただきます。

校内のケース会に参加させていただいて問題点の整理をお手伝いしたり、具体的な教材の紹介をしたりします。

特別支援に関わる研修の講師もしています。

家庭での支援についても一緒に考え、就学や進路に向けての相談もお受けしています。



はじめの一步



新年度になり、はじめて特別支援学級を担当される先生もたくさんいることと思います。何から始めたらいいか悩みますね。まず、子どもたち一人一人の好きなことを大切にしてください。出会いの時、先生が自分の事を理解してくれていると感じた子どもたちには安心感が生まれます。

また、一緒に好きなもので遊んだり、好きなものについて話をしている様子からたくさんの情報も得ることができます。

そして、一人一人の実態把握を丁寧に行い、目標設定へと繋げて下さい。その際も子どもの苦手なことに焦点を向けるだけでなく、得意なことを活かしていけるといいですね。

実態把握の際、難しいこと等がありましたら是非たばな支援学校にお声かけください。

問い合わせ先



〒643-0075

和歌山県有田郡広川町和田21-3

電話 0737-62-3599

メール tachibana.shien@wakayama-c.ed.jp

教育相談担当：黒原量子、上山喜寛



本校、教育相談の
ホームページです